

平成28年度会計 決算報告

問合せ 行政課財政係

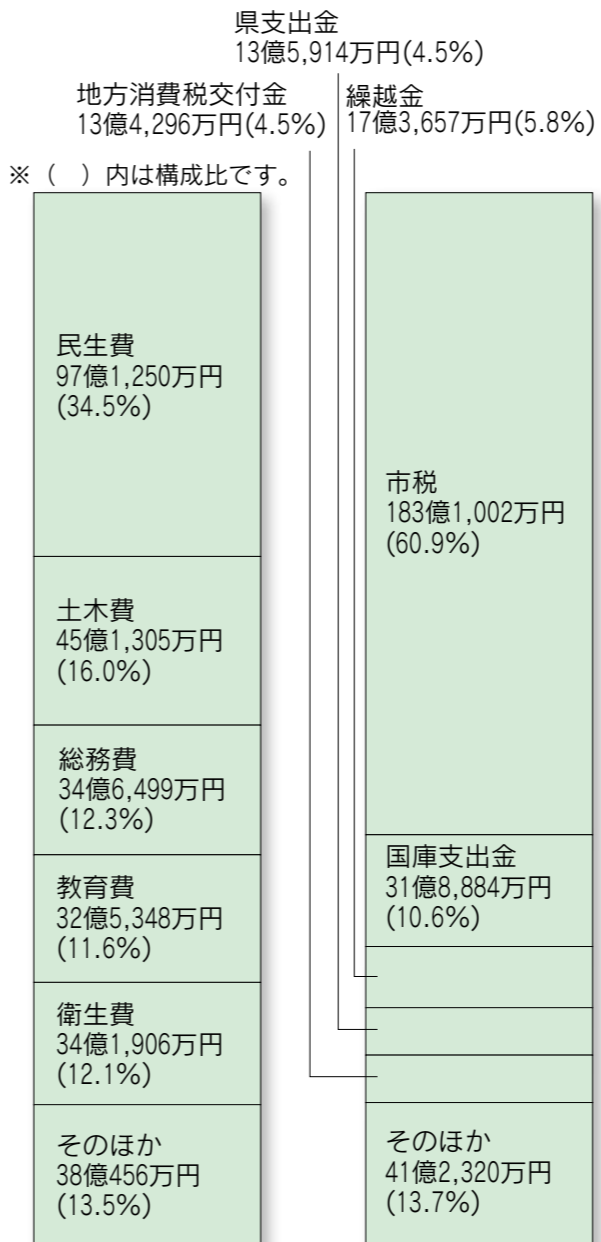
9月市議会にて認定された一般会計、5つの特別会計、2つの企業会計について、大切なお金の使い道を報告します。

万円未満四捨五入のため合計などが一致しないことがあります。

一般会計

【歳入】
歳入の60.9%を市税が占めています。市税のなかでは、固定資産税が47%、市民税が42.6%で全体の90.3%を占めています。

寄附金は5億7千286万円余（前年度比9.4%減）となりました。主にふ



るさと応援寄附金ですが、この減収要因は、全国の自治体間の競争激化の影響によるものです。

地方消費税交付金は13億4千295万円余（前年度比10.0%減）となりました。これは個人消費の伸び悩みによる地方消費税収入の減によるものです。

【歳出】
【民生費】 高齢者の健康保持および外出促進のため、あおいパークやサンビレッジ衣浦の風呂およびプールが利用できる高齢者優待券の年間配布枚数を1人当たり24枚から36枚とし、追加交付を行いました。

また、新川児童クラブ本館の増築整備や保育園・幼稚園施設の老朽化に伴う改修などの整備を行い、子育て環境の充実に努めました。

土木費 碧南レールパーク整備工事を始めとする棚田地区都市再生整備計画事業、伊勢土地区画整理事業に対する補助、主要地方道岡崎碧南線における電線共同溝事業、ポンプ場設備長寿命化事業並びに市営住宅建設事業を行いました。

総務費 身の丈に合った公共施設などの適正な規模やあり方を踏まえ、公共施設などのマネジメントを推進するため、公共施設等総合管理計画を策定しました。

また、自主防犯パトロール団体に於ける青色防犯パトロール車の維持管理費補助制度を創設し、防犯活動の促進を図るとともに、町内会や商店街振興組合などにおける防犯カメラ設置費補助制度を創設し、安心安全なまちづくりの推進に努めました。

教育費 施設の老朽化対策として、新川小学校南棟および大浜小学校南館の外壁改修工事を行いました。

また、海浜水族館・青少年海の科学館および哲学たいけん村無我苑市民茶室のトイレ改修や臨海体育館の空調設備改修などを行い、施設の利用環境の向上に努めました。

衛生費 あおいパーク施設内に高齢者の健康増進を図ることを目的とした筋トレルーム60の設置に伴い、トレーニング器具などの購入を行いました。

また、一般不妊治療費や体外受精・顕微授精などの特定不妊治療費の助成を拡充・新設することにより、経済的な負担軽減と少子化対策の推進に努めました。

そのほか 議場設備の老朽化対策として、カメラおよびマイク設備の更新を行うとともに、議場内に大型ディスプレイを設置し、傍聴者にわかりやすい議会の審議状況を公開する環境整備を行いました。

へきなん美人PRイベントとして、「全国にんじんサミットin碧南」の開催費用の補助を行い、地域活性化と地域経済の発展に寄与しました。

伝統的地場産業である醸造業の振興のため、「全国醤油サミット」を開催しました。

企業の従事者を消防団員として積極的に推薦する企業に対する補助制度を創設し、企業防災力の向上に努めました。

市税の内訳

| 項目 | 決算額 |
|----------|-------------------------|
| 市民税 (個人) | 77億9,352万円 (48億8,540万円) |
| 市民税 (法人) | (29億 812万円) |
| 固定資産税 | 87億2,582万円 |
| 軽自動車税 | 1億6,273万円 |
| 市たばこ税 | 4億7,827万円 |
| 都市計画税 | 11億4,967万円 |

都市計画税の充当状況

| 項目 | 事業費 | 充当金額 |
|----------|------------|------------|
| 公園事業 | 1億 381万円 | 3,166万円 |
| 下水道事業 | 1億5,687万円 | 1億1,062万円 |
| 土地区画整理事業 | 1,394万円 | 240万円 |
| 地方債償還 | 14億2,558万円 | 10億 499万円 |
| 合計 | 17億 19万円 | 11億4,967万円 |

特別会計決算

| 会計名 | 歳入 | 歳出 |
|-----------|------------|------------|
| 国民健康保険 | 77億2,794万円 | 70億8,174万円 |
| 公共下水道事業 | 36億3,731万円 | 34億3,643万円 |
| 訪問看護事業 | 3,430万円 | 2,182万円 |
| 介護保険 | 45億3,884万円 | 41億7,280万円 |
| 後期高齢者医療保険 | 8億 958万円 | 8億6,510万円 |

企業会計決算

| 水道事業 | | |
|-------|------------|------------|
| | 収入 | 支出 |
| 収益的収支 | 14億8,495万円 | 12億9,538万円 |
| 資本的収支 | 1億8,989万円 | 7億 414万円 |

| 病院事業 | | |
|-------|------------|------------|
| | 収入 | 支出 |
| 収益的収支 | 73億9,177万円 | 78億8,893万円 |
| 資本的収支 | 16億3,317万円 | 13億1,687万円 |

健全化判断比率・資金不足比率を公表します

問合せ 行政課財政係

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成28年度決算の健全化判断比率を示す4指標と公営企業の資金不足比率を公表します。

これらの比率は、赤字額や借入金の額などをと自治体の財政の健全化度を数値として表したものです。いずれも、値が少ないほど自治体の財政は健全な状態にあります。

総評
平成28年度決算は、いずれの指標でも基準を下回り、財政状況は健全であると言えます。

健全化判断比率 (単位%)

| 指標 | 公表数値 | 早期健全化基準 |
|----------|------|---------|
| 実質赤字比率 | — | 12.54 |
| 連結実質赤字比率 | — | 17.54 |
| 実質公債費比率 | 0.8 | 25.00 |
| 将来負担比率 | — | 350.00 |

※「—」は実質的な赤字、将来負担が発生していないことを示しています。

- 実質赤字比率は、一般会計などの赤字の割合を示すものです。
- 連結実質赤字比率は、市全体の会計の赤字の割合を示すものです。
- 実質公債費比率は、一般会計などが負担する借入金の返済額などの割合を示すものです。(3か年平均)
- 将来負担比率は、一般会計などが将来負担すべき借入金などの割合を示すものです。

資金不足比率 (単位%)

(企業ごとに資金不足(赤字)の割合を示します)

| 公営企業会計名 | 公表数値 | 経営健全化基準 |
|-------------|------|---------|
| 水道事業会計 | — | 20.0 |
| 病院事業会計 | — | |
| 公共下水道事業特別会計 | — | |

※「—」は資金不足ではないことを示しています。



【総括】
歳入は、決算額300億6千72万円余で対前年度比2.5%減となりました。市税は、本市の主要な収入源である市民税、固定資産税がともに増加しており、前年度比2.0%増となりましたが、国庫支出金、地方消費税交付金などが大幅な減となりました。

歳出は、決算額281億6千762万円余で対前年度比3.2%減となりました。道路や公園などの整備にかかる土木費は、対前年度比2億6千479万円減(5.5%減)、教育費は、対前年度比9億2千321万円減(22.1%減)となりました。また、民生費は対前年度比12億2千913万円増(14.5%増)となっており、要因としては介護給付などの扶助費の増加および国民健康保険事業への繰出金が増えたことが上げられます。

なお、歳入財源として借金(地方債)を11億9千710万円発行し、歳出では、貯金(財政調整基金)に2千826万円の積立を行いました。